

「いのちの尊さ、大切さ教室」講演の概要

【犯罪被害者遺族等による講演】

○ 大崎 礼子 氏（交通死亡事故被害者遺族）

平成12年11月、二戸市内において、飲酒運転の軽トラックが集団登校中の小学生の列に突っ込み、児童2人が死亡し、6人が重軽傷を負う交通事故が発生。講師は、この事故により長女（当時7歳）を亡くされました。以降、講師は、仕事の傍ら飲酒運転の撲滅と命の重さを伝えるための講演活動に尽力されています。

○ 吉田 勝彌 氏（傷害致死事件被害者遺族）

平成14年10月、長男（当時32歳）が友人の結婚披露宴に出席するため県外を訪れていたところ、喧嘩に巻き込まれ、埠頭の岸壁から海中に蹴落とされて亡くなりました。以降、講師は、被害者も加害者も生まない社会を実現するため、各地での講演活動に尽力されています。

○ DVDによる講演（交通死亡事故被害者遺族）

平成15年6月、滝沢村（当時）内で発生した路線バスによる交通事故で、当時6歳の長男を亡くされた交通死亡事故被害者遺族を講師とした講演DVD「交通事故被害者遺族の想い」（約40分）を上映します。

○ 警察本部県民課被害者支援室員による講演

犯罪被害者やそのご家族が置かれている現状、周囲の理解や被害者等への支援等のほか、とりわけ潜在化しやすい性犯罪の被害に遭わないためにできること、被害に遭った場合の対応などについてお話しします。